

## 全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>&lt;成果&gt; ○国語科では、漢字の書き取りの力が身に付いている。読み取ったことを文章で表す力も身に付いている。 ○算数科では、道のりと時間の関係をよく理解できている。また、「一人当たりの量」や割合についてもよく理解できている。</p> <p>&lt;課題&gt; ▲国語科では、本文と資料を照らし合わせながら読み取ることが、やや苦手である。 ▲算数科では、面積の特性についての理解が十分でない。無回答率もやや高い。</p>	<p>&lt;成果&gt; ○家庭での学習習慣や生活習慣がよく身に付いている。読書の習慣が身に付いている児童も比較的多い。 ○やると決めたことをやり遂げたり、難しいことに挑戦したりしていると感じている児童の割合が高い。 ○自分と違う意見について考えることを楽しいと感じており、学級でも互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると感じている。 ○地域行事への関心がとても高い。 ○学校や家庭で、ICT機器をよく活用して学習している。</p> <p>&lt;課題&gt; ▲自分にはよいところがあると感じている児童の割合がやや低い。 ▲資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると感じている児童や、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように表現していると感じている児童の割合がやや低い。</p>

## 改 善 策

## 学 校 で の 取 組

- ①授業づくりについて
- 「焦点化」「視覚化」「共有化」に重点を置いた授業づくりを追究することで、分かりやすい授業の実現を目指す。
    - ・めあてを明確にし、見通しをもって学習できるようにする。
    - ・視覚的な情報を活用したり分かりやすい板書を心掛けたりすることにより、課題や話合いのポイントや学習した内容を的確に捉えることができるようにする。
  - 授業の振り返りの時間を確保し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図る。また、振り返りの評価を児童にフィードバックしたりノートを紹介したりして、書き方の参考になるようにする。
  - ②基礎・基本の定着について
  - 全職員の共通理解の下で朝の活動を実施し、漢字の読み書きや計算、読書に取り組むとともに、課題に適した宿題の出し方となるよう工夫することにより、学期末の漢字テストや算数科の数と計算領域の得点が目標値を達成できるようにする。
  - 自主学習を推奨し、主体的に学習する態度の定着を図るとともに、家庭学習の時間が「10分×学年+10分」を超えるようにすることで、学習習慣の定着を図る。

## 中 学 校 区 で の 取 組

- 中学校の試験期間に合わせて「メディアコントロール週間」を設定し、生活習慣の改善を図る。
- 園小中がスムーズに接続できるよう、カリキュラムに基づいて指導・支援をしたり、校種間で情報交換をしたりする。
- 他校の指導内容や方法、児童生徒の実態を理解し、本校の指導に生かすために、町内小中学校の公開授業に参加する。

## 家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 「メディアコントロール週間」を中心に、規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けることができるように、声掛けや励ましをお願いします。
- 学習や生活等、様々な場面で子どもたちのよさや頑張りをほめてください。
- 子どもたちやご家族の健康を守るための取組に対し、これからもご理解とご協力をお願いします。